

第 46 号

発行日 昭和59年2月26日

発行 相模原市

大野中公民館

(Tel 0427-46-6600)

一大野中地区全世帯配布一

世帯数 15,728戸

人口 男 25,882人

女 25,417人



一健康を守るために みずから環境づくりを一



地域に生きる 高齢者

高齢者問題が、あちこちの場で話題にされ、現在もその対応が模索検討されています。一番大切なことは自分自身が健康であること、健康を守るためにはみずからがその環境づくりをして行くことではないでしょうか。

大野中地区には老人クラブが十六あります。その中の一つ、九十三名の高齢者会員がいる「新寿会」では、健康づくりを兼ねて児童館、遊園地などの清掃を月一回の例会にしています。現在では、その会から更に、ボランティアグループも生まれ、地域全体の人々が生活の中で、大人も、子どもも、気づいたら拾いましょう、というかけ声とともに、公共施設前の道路の清掃をしており、いまでは大変きれいになりました。

新寿会の会長さんである平本さんは、「とかく孤独になりがちなお年寄が、仲間と共に、公民館や福祉施設へと足を運び、踊ったり、ゲートボールしたりで、思うように動かなかった足も丈夫になりました。」

会の中にも広がりがあり、三ヶ月一回の誕生会を行ったり、ねたきり老人のおみまいや、体の不自由な老人のお手伝いに行ったりで、難しいこともあります。その交わりも密になりました」と話されました。

同世代の人間関係の輪の広がりが、新しいエネルギーにもなっているようでした。

足で学ぶ「大野中郷土をさぐる会」

「相模原に移って来て数年になるのに、私達は地域の歴史をちつとも知らない。これでは相模原に引越してきても、郷土愛が生まれてこない」そこで昭和56年、公民館の歴史講座をきっかけに「少し地域の歴史を学習してみよう」と高齢者の方が集まってできたのが『大野中郷土をさぐる会』です。

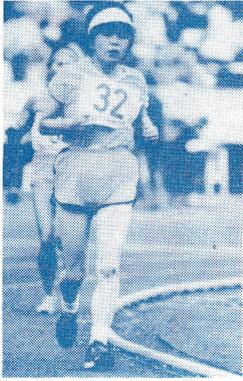
会では毎月第一日曜日の午前中公民館を使い、講師を招いて話しを聞いたり、文献を読んで学習し

地域の活動

50歳代で、金メダル!!

『東日本マスターズ』

グリーンハイツにお住まいの伊藤藤栄さん(58歳)は、昨年の10月国立競技場で行われた第3回東日本マスターズに出場され、女子5



機会あるごとに、その現地調査を行うというふうな、玉ねぎの皮を一枚一枚はぐのように、地域の歴史のペールをはいでいくといった活躍ぶりです。

昨年は、当麻山無量光寺の地形調査をしたり、海老名市の国分寺の歴史調査を行いました。

研究対象年代も幅広く、先史から現代にわたり、会員の学習意欲も旺盛です。

ところでこの会の特徴は、高齢千メートル(50歳代の部)でみごと優勝の荣誉に輝き、金メダルを獲得されました。

ジョギングを始めたきっかけはやや太りぎみで又、高血圧であったため、体重を調整しようとのことで走り始め、最近では、晴天の日には、8キロメートルは走っておられるそうで効果は抜群!

そして『走ったあとのそう快感はなんとも言えませんよ』とお話しして下さった笑顔には、早くも春のひざしがさしていました。

自分のペースで楽しめるジョギング、始めてみませんか!

者の方が自主的に会を組織、運営するといったことばかりではなく相模原の歴史については市立図書館古文書室の資料や研究者によって学ぶことができても、地域の歴史については、自分の足を使わなければ多くを知ることができないという意識が会員にあるということです。そして学習成果の一つ一つが、会員の心の故郷づくりの材料になっているということも大きな特徴の一つです。

そして、高齢化社会に向かいつつある昨今、このような学習サークルの存在はこれからの高齢者の方々の「いきがい」を考えるうえで、大きなヒントになりそうです。

〈鵜野森方面新設中学〉

大野中地区に、新しい中学校が誕生します。まだ正式な名称は決まっていますが、4月開校に向けて、工事は順調に進んでいます。位置は南警察署の横浜寄りで、旧16号線に面して正門が設置されます。普通教室棟は3階建、特別教室棟は鉄筋4階建で、7月完成予定の体育館は、現在の中学校体育館の14倍の広さを誇るそうです。



募集

文化講演会

芸能生活五十年

―女優と妻と母として―

とき 3月20日(火)

午後2時～3時30分

ところ 公民館大会議室

講師 鈴木光枝氏

(劇団文化座)

女優の佐々木愛氏のお母さんでもあり、舞台、テレビでご活躍中です。

無料

申込み 3月18日までに、直接

又は電話で公民館まで。

★自治会対抗卓球大会★

第七回大野中地区自治会対抗卓球大会が3月11日(日)八時より大野小学校体育館で開催されます。

各自治会よりの代表選手により毎回熱戦が展開され、応援者もおもわず手に汗握るものと思われます。

本年度、最後の体育事業です。是非選手の応援においでください。

親子追跡タイムハイク

とき 3月25日(日)、午前9時～

午後1時まで・雨天のときは子ども映画会。

集合 大野中公民館

コース 緑道ほか

対象・チーム編成

大野中地区に在住の小学生の親子、または友達三名～五名で編成し、その中に一名は大人が入る。

費用 弁当代が四百円(持参する人はいりません)

申込み 3月18日までに直接、または電話で公民館まで、

押絵講習会

―グリーンハイツ紫陽会が主催で―

とき 4月12日・26日

5月10日・24日(計4回)

いづれも午後1時～3時

ところ 公民館大会議室

制作品名 かぶと・ひょうたん他

定員 30名

材料費 五千八百円

持参するもの おしぼり、はさみ

申込み 4月1日までに、直接、

または電話で公民館まで

★ただいま

大野なか鼓笛隊々員募集中

大野なか鼓笛隊では、隊員を募集しています。小学三年生以上六年生まで男女共入隊できます。

練習日は毎週土曜日午後二時三十分～五時迄大野中公民館体育室で行っています。年間の主な行事としては、各自治会及び市、県体

育祭などの開会式に出場しております。多勢の方の入隊をお待ちしております。

詳しくは、隊長 山野辺

まで御連絡下さい。なるべく夜七時以降にお願いします。

団員募集

―大野中剣道スポーツ少年団―

剣道を通じ自主的な団体活動をし、心身の鍛錬と人格の向上を目的とし、健全な青少年の育成を目的とする。

対象 小学一年生以上

練習日 大野小(毎週火・金)

鹿島台小(毎週月・木)

定員 各会場共30名

問い合わせ・申込み

大沼郵便局 細谷武夫

で

あともかき

◆雪の当り年。去る二月三日夜、凍てつくような寒さについて公民館運営審議会が開かれましたが会議の前の話題はやはり雪。

◆今年度は、一面に青少年と高齢者中心の記事をシリーズで掲載してきましたが、今号は高齢者シリーズの最終回、誰もが通る人生のラストをどう生きる？

ちなみに昨年のNHK「老人の主張」一五〇〇通の中から、老人の願いベストファイブを紹介すると、

1. 健康に生きること
2. 医療の充実を願う
3. 子ども・孫との同居を願う
4. 年金の増額を願う
5. 若者を憂う

そして、一番悲しいことは、病気になること。楽しいことは、歌うこと、踊ること、孫と遊ぶこと。

◆本号は、今年度最後の館報となりますが、お手元に届く頃は、残雪もなく、ポカポカ陽気になることを期待してやみません。

◆卒業、入学、就職シーズンも間近です。ガンバレ／チビッ子君はばたけ／新卒君。